

図書館の窓から

4
2010.4
No.128



はなかがり
(花篝 稲田亜紀子/画)

【特集記事】

◆私の一冊

長岡市教育委員会学校教育課訪問相談員 長谷川 一夫 さん … 2p

◆中央図書館特色資料紹介

堀口大学をはじめ、特色資料を紹介 …………… 5p

◆図書館主催行事案内

図書館のイベントが丸々わかる! …………… 6~7p

2010
国民読書年

私 の 一 冊

長岡市教育委員会学校教育課訪問相談員
長谷川 一夫さん



『ノルウェーの昔話』
アスビョルンセン／編 モー／編
福音館書店

読むたびに夢や遊びの世界に浸ることのできる本は？と訊かれたら、アスビョルンセンとモー2人の編集による『ノルウェーの昔話』をその一冊にあげるでしょう。

ヨーロッパの北、スカンジナビア半島の西側にある南北に細長い国ノルウェー。山と森と湖の豊かな自然、冬はオーロラ、夏は沈むことのない太陽、そして、勇壮なバイキングの国でもあります。この本にある34の昔話はそこに住む人々が語り伝えてきたものです。

昔話というと、子ども向けの話というイメージが強いかもかもしれませんが、決してそうだとは思いません。その中にはノルウェーの人々の暮らし、伝統や

文化、知恵や勇気や優しさなどがあふれているからです。

主人公は多くの場合、炉の側でいつも灰をいじり、家族や村人からも疎んじられている「灰つつき」、でも、いざというときには大活躍をします。また、妖怪や魔物の仲間の「トルル」は、実に様々な姿で登場します。

読み進めながら、豊かな自然や人々の暮らしにふれ、苦難に立ち向かう知恵や勇気、優しさなどに感動し、トルルとたたかう灰つつきになって冒険の旅を続けます。

また、他の国にもこれらと似た昔話が伝えられています。例えば「海の底の白」は、日本の昔話「海の水はなぜからい」と似ており、韓国にも「トッケビの

石臼」(『だまされたトッケビ』神谷 丹治／編・訳)があります。

「灰つつきとすてきな仲間たち」は、ロシアの昔話「空を飛ぶ船」(『ロシアの昔話』内田 莉莎子／編・訳)や中国民話「九人のきょうだい」(『けものたちのないしょ話』君島 久子／編・訳)と似ています。どの話も自然や人々の暮らし、伝統や文化、心の在り方などを語り伝えてきているのです。

ですから、『ノルウェーの昔話』は、日本や他の国の昔話も、私にとっては夢や遊びの世界に浸れる楽しい読み物であり、旅行ガイドとは違った意味の旅の案内人でもあるのです。

●はせがわ かずお



略歴

- ・昭和21年 長岡市与板町に生まれる。
- ・昭和43年 法政大学文学部卒業後、38年にわたり県内の小学校教員を務める。
- ・日蘭文化交渉史、越後の蘭学史・医学史を研究。
- ・『栃尾市史』『見附市史』『新潟県史(近世編)』『新潟県文化財年報第23 近世の洋学研究資料』『与板町史』『与板のひとびと—与板の人物史』などの編集・執筆に携わる。

現在

- ・長岡市教育委員会学校教育課訪問相談員
- ・長岡市与板地域委員会副委員長
- ・法政大学史学会評議員
- ・日本医史学会、日蘭学会等の会員

今年は国民読書年です。図書館としても、いろいろとアイデアを出し合い、楽しいイベントを考えていきたいと思いません。

1月には紅白図書合戦を、3月には福島江の桜の歴史紙芝居ミニ展示を行いました。図書館の開館記念日の6月前後には楽しいイベントを計画中です。ご期待ください。

8月に「ちびっこ広場」が大手道の再開発ビル内に移転し新装オープンしますが、その中に

「まちなか絵本館」ができます。1万冊の絵本を用意して、小さな子どもたちが伸び伸びと絵本を楽しめるよう、図書館も運営のお手伝いをします。ぜひご利用ください。

また、6月には新聞や雑誌の記事、法令判例を調べるのに便利な外部データベースを導入します。調査研究にお役立てください。

読書離れ、活字離れとよく言われますが、書店には新刊書があふれ、電子メールや書類など

活字情報は嫌というほどあふれています。活字離れというよりは、身の回りにあふれている活字・情報から、自分の必要なものをどう選択していくか、どう自分の血や肉としていくかが問題となっているのだと思います。図書館には、昔の書物から最新の雑誌まで、沢山の「知」が詰まっています。今年度も、市民のみなさんの知的好奇心を刺激する活動を行い、読書を通じて新しい領域を広げるためのお手伝いをしたいと思います。

文書資料室だより 小国地域の人が綴った江戸と明治の記録～長岡市史双書No.49刊行～

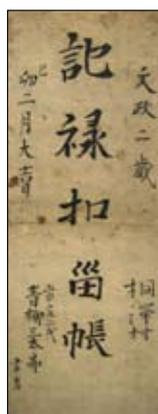
小国地域の青柳家に古文書などの資料が伝えられ、中越大震災の後、土蔵から救出されました。江戸時代末から明治30年代までの出来事を綴った「記録控留帳」はそのひとつです。文政2年（1819）から、代々書き継がれたものです。記事は、小国地域を中心に長岡や小千谷など周辺地域にも及んでいます。

村の合併、役場や学校の設立、石油試掘、北越鉄道の信濃川に架かる鉄橋で汽車が落下した事故、日清・日露戦争、コレラや赤痢といった病気の流行、青柳家での郵便切手の販売など、小国にも近代化の波が押し寄せていたことがわかります。その一方で、伊勢神宮や善光寺への参詣、神社での芝居興行など、江戸時代のなごりや地域の伝統が感じられる記事も見られます。

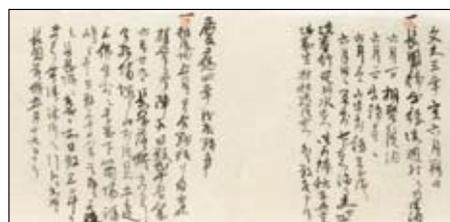
また、青柳家は、窮民への救助金や米の提供、学校資金の寄付を行いました。同じ小国地域である横沢村出身の実業家・山口権三郎（野本互尊の実兄）が道の開鑿かいさくに寄付をした記事も見られます。有力者が地元のまちづくりに貢献する姿が古文書

から読み取ることができます。

長岡市史双書の新刊No.49『新潟県中越大震災と史料保存（2）被災資料が地域を語る①刈羽郡桐沢村青柳家文書』（頒布価格1,500円）に所収された、この「記録控留帳」から江戸や明治の雰囲気雰囲気にふれてみてはいかがでしょうか。（小林 良子）



「記録控留帳」



文久3年（1863）に長岡藩の役人が小国地域を廻った時の宿泊先についての記号と、慶応4年（1868）の戊辰戦争の記事。

草生鐵生政治は、安政3年（1856）長岡藩士草生物藏の長男として生まれました。藩士の子息が画家として大成したところが異色な人といえます。絵を長岡藩お抱え絵師飯島半耕に学び、書を高野貞吉（山本五十六の父）に習ったといえます。

父の死後、江戸で南画家田能村直人に学び、腕をあげ、明治30年長岡に帰ります。その後、諸国を廻り、風景を脳裏におさめ、帰国しては描いていきました。絵は雅やかで格調があり、一幅毎に自筆の画賛を添えています。

この絵は大正9年（1930）の作で、中央の大樹に寒鴉（写真では点々に見える）の集まってくる様子が描かれ、その下を流れる川にかかる橋を渡って、わが家に帰る鐵蕉自身を描いたものという意味の賛が書かれています。

鐵蕉の絵は、伏見宮貞愛親王殿下に献納されたり、ドイツのハンブルグ博物館に収納されたりもしています。鐵蕉は昭和6年に長岡市千手の自宅で76歳の生涯を閉じました。（今井 雄介）

画賛

樹聲泉韻聚寒鴉

行過山橋是我家

樹聲泉韻寒鴉聚
寒鴉聚まる

山の橋過ぎ行けば是れわが家なり



郷土資料紹介

— 懐かしの風景 ① 交通 —



『越後洞門 手掘隧道物語』
磯部 定治／著 新潟日報事業社

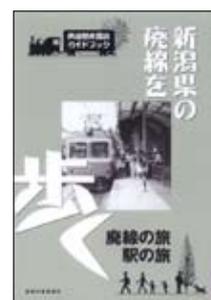
大きな山に向かい手堀りで隧道を掘り抜いた人々の記録です。ツルハシを手にした村人たちは「だめだ、やっぱり夢物語なんだ。」という思いを何度も抱きながらも、自分たちの暮らしのためにその手を止めることはありませんでした。

貫通の瞬間の人々の喜び、念願の自分たちの道を作り上げた感動が伝わってきます。手掘隧道は今では新しいトンネルとなっていますが、長い年月をかけて掘った先人たちの思いは忘れたくありません。

（穴沢 麻子）

春はお花見、長岡でお花見といえば悠久山。かつて長岡の街を走った栃尾鉄道（のちの越後交通）悠久山線は、桜の時期にはあふれるほどの乗客でにぎわったそうです。市内に限らず県内各地の鉄道路線数は時代とともに減り続け、街や暮らしも

大きく様変わりしていますが、この本ではありし日の鉄路の様子を窺い知ることができるスポットが地図や写真を交えて紹介されています。当時を懐かしんだり新たな発見をしたりと、それぞれの楽しみ方ができる1冊です。（尾木 茜）



『新潟県の廃線を歩く』
新潟日報事業社

長岡市立中央図書館所蔵 特色資料紹介



長岡市立中央図書館には個人の蔵書やコレクションを収集したものがあり、「特色資料」と呼ばれています。長岡の文化遺産を後世に伝えたいという人びとの想いが図書館の特色資料を構築しています。

●堀口大學コレクション

長岡が生んだ詩人、堀口大學ちかみまさひろの資料を、収集家千頭将宏氏から平成9年に長岡市が購入したものです。4,000点を越すコレクションは、堀口大學の著訳書をほぼ網羅的に収録。全集や単行本に未収録の作品の掲載誌もコレクションされている他、他の作家の著作に引用された作品や新聞記事、広告、パンフレット等、堀口大學にふれた資料は全て収集対象となっています。

●川上四郎文庫

長岡出身の童画家・川上四郎の旧蔵書で、絵本や『コドモ』『コドモノクニ』など、昭和初期・中期の児童雑誌を中心とした絵雑誌等、約1,800点の資料があります。児童文学と郷土資料の両面から注目される川上四郎。その愛くるしく、郷愁を誘う画風に魅了される人も少なくありません。

●反町茂雄文庫

長岡市出身の反町茂雄から寄贈された郷土資料、および反町茂雄文庫設立基金により購入し

た郷土資料、そして長男反町雄一氏から寄贈された郷土資料を加えたものです。反町茂雄は、明治34年(1901)、長岡市神田に生まれました。昭和7年、古書肆「弘文荘」を開業。古書業界の発展に尽くしました。故郷長岡の郷土資料充実のために援助を惜しまなかった反町茂雄をしのぶ貴重な資料群です。軸装・錦絵等の貴重資料には上杉謙信、景勝、直江兼統の書状といった中世文書も含まれています。

●伊東多三郎文庫

長岡出身の歴史学者・伊東多三郎の旧蔵書。昭和62年にご遺族から寄贈されたもので、図書・漢籍・国書・抜粋・ノート・備忘録等、約8,500点の資料があります。史料の精査、高度の学問性、豊かな郷土性を特徴とする学風や、温厚で篤実な人柄を伝える資料群です。

●星野慎一文庫

長岡出身のドイツ文学者・星野慎一の旧蔵書です。平成11年にご遺族から寄贈されたもので、図書・ノート・レコード等の資料があります。図書資料は、研究書・エッセイ・詩集等の著作類、文学全集・美術全集、ドイツ文学関係の研究書・作品集で構成されています。資料群からは、星野氏の研究の過程を知ることができます。

●笠輪勝太郎文庫

元長岡市助役・笠輪勝太郎の旧蔵書です。昭和62年に寄贈され、約1,500点の図書資料を所蔵します。笠輪勝太郎は、明治37年(1904)生まれ。市職員時代から郷土史研究に関心を寄せ、退職後は長岡郷土史研究会会長として活躍しました。本文庫には、郷土史・文学・美術に関するものが多く、笠輪勝太郎の幅広い文化活動の跡をたどることができます。

●酒井洋文庫

長岡市出身の工学博士・酒井洋の約4,000点にのぼる旧蔵書で、図書や漢籍等の資料を収蔵しています。図書資料は主に電気工学関係の専門書・雑誌で構成されています。また、酒井洋は「松濤」しょうとうの号を持つ書家としても知られており、図書の中には書道や美術関係の資料も多数含まれることから、その博学ぶりを窺い知ることができます。

●斎藤和代文庫

教育学者・斎藤和代の旧蔵書で、資料数は約1,000点にのぼります。斎藤和代は元新潟大学教育学部教授(長岡分校)を務め、教育心理学を担当しました。本文庫は専門分野である教育心理学の他、哲学・心理学・倫理学などの専門書が収められています。

(山田 紀子)

図書館で 学ぶ・楽しむ

図書館主催の行事をご存知ですか？図書館では年間を通し、楽しむものから学べるものまで、様々な行事や展示などを実施しています。詳しい日時は、市政だよりやチラシ等でお知らせします。

各図書館

■エコ・ブックスフェア

5月・10月予定

※提供資料の量により、開催しない場合もあります。

図書館では、常に新鮮な本をみなさんに提供したいため、まだまだ利用できる本であっても、新しいもの買い換えたり、内容的に現在にそぐわないものなどを抜き出しています。これらの本を無料でお譲りし、大切に活用していただきたいという思いから、平成14年から開催しています。

雑誌・小説・実用書・児童書と、様々なジャンルの本がありますので、お気に入りの1冊がきっと見つかると思います。

■調べる学習賞コンクール

6～12月

児童・生徒から一般までを対象に、各テーマについて図書館を使っての調べる学習を推進し、全国コンクールへの出展をサポートします。

21年度は市内の小・中学校全校に対して、調べる学習賞コンクールの概要並びに近年の状況を説明してきました。22年度はさらに学校との連携を深め、長岡市からの出展数を増やしていきたいと思っています。

■夏休み図書館ボランティア

7～8月

1年の中で図書館が最も賑わう夏休み。この時期に、毎年「夏休み図書館ボランティア」を募

集しています。

長岡市内のお好きな図書館で、カウンター業務や本の返却・整理に加え、普段は決して入ることの出来ないバックヤードでの作業を体験していただきます。やる気があれば、おはなし会や自動車文庫「米百俵号」への搭乗など、図書館の仕事をまるごと体験することができます。

夏休みといっても参加対象は中学生以上ですので、一般市民の方大歓迎！ぜひ、この夏、図書館職員になってみませんか。

中央図書館

■子どもの本を読む会

毎月 第2水曜日

毎回、年度当初に決めたテーマに沿って、子どもの本について語り合う読書会です。『飛ぶ教室』（ケストナー／著）や『虫の絵本』など、作品についての回もあれば、「あかちゃん向け絵本」「高学年の読み聞かせにおすすめの本」など、読み聞かせに役立つ本を紹介し合う回もあります。どなたでも参加できますので、どうぞお気軽にお越しください。

■映画会 毎月2回(水・日)

まちの映画館とは一味違う作品が見られると好評の映画上映会です。世界各国のクラシック映画やドキュメンタリー映画に加え、郷土映画や子ども向け映画、時には新作映画と、幅広い内容で皆様のご来場をお待ちし

ています。また、会場ロビーでは、作品に関連する図書やDVDなどの紹介・貸出も行っています。そちらもぜひご覧ください。



■文化講座 9月予定

県内で活躍されている様々な方を講師に招き、社会情勢等に即したテーマの講座を実施しています。全4回で構成されており、毎回100名前後の方が受講されています。

毎年、旬なテーマでバラエティに富んだ内容となっておりますので、興味を持たれた方はぜひ、ご参加ください。参加は無料ですので、大勢の方のお申し込みをお待ちしています。

■文芸講演会 11月予定

作家を中心とした、国内で広く活躍されている著名な方を講師に招き、文学や芸術の世界に親しんでもらうことを目的に開催しており、40年以上続いています。当日は著書を購入された方を対象としたサイン会が行われることもあり、著名人の話を直に聞けるまたとないチャンスです。

毎回多数の応募がありますので、市政だより等のお知らせをお見逃しなく！

■早春コンサート 3月予定

春を感じる3月。毎年この時

期は、弦楽四重奏団の生演奏を図書館で堪能できる「早春コンサート」を開催しています。

子どもの部・大人の部の2部制で、0歳から参加可能な「子どもの部」では、生演奏に合わせて手遊びや歌を楽しみます。

「大人の部」では、中学生以上を対象に、クラシックや歌謡曲の生演奏、図書館職員による詩の朗読を行います。

早春を奏でるメロディをぜひお楽しみください。



■美術センター自主企画展

昭和62年3月、中央図書館の開館を記念し、同館2階の美術センターにおいて「日本童画の父 川上四郎回顧展」を開催しました。以後、年数回の企画展を開催し、市民に美術鑑賞の場を提供してきました。近年では、長岡ゆかりの作家の作品や中央図書館所蔵の特色資料の展示を行い、いずれも人気を博しました。一昨年には長岡市立図書館創立90周年を記念した展覧会を開催、長岡の図書館の歴史と「互尊独尊」の精神を見つめ直す機会となったのではないのでしょうか。

美術センターでは様々な企画展を行いますので、お気軽に足を運んでください。



互尊文庫

■読者のつどい 月1回

テーマ本を選定し、当該本の読後感想などを意見交換し合う会合です。和気あいあいとした雰囲気の中で毎回、活発な論議が交わされています。

■文学散歩 11月予定

身近な地域の文学に関連する講座や視察旅行を行います。22年度のテーマは未定ですが、新潟県が輩出した文人の足跡を辿り、理解を深めていきたいと思っています。



西地域図書館

■むかーしむかしのお話会

年2回

新潟県の方言で語られる昔話の会です。県内各地の語り部の会の方をお招きして行っています。幼児からお年寄まで楽しめる内容です。



南地域図書館

■撰田屋醸造歴史散歩

年1回

講師の方による歴史解説付きで、南地域図書館の特色資料でもある「醸造」の町・撰田屋地区を散策します。毎回、訪問先で温かいおもてなしを受け、参加者にも大好評です。

北地域図書館

■フラワーアレンジメント教室

月1回

初心者を対象とし、その時々季節感を大切にしながら、お花と触れ合って楽しい時間を過ごしていただく教室です。



中之島地域図書館

■映画祭特設コーナー 随時

中之島文化センターが主催する映画祭で上映される映画のポスター・チラシを掲示し、映画関連本のコーナーを設置します。

寺泊地域図書館

■工作教室など 随時

季節の行事に合わせて、計画・実施しています。親子での参加が多いので、大人の方も楽しんでくださっています。

栃尾地域図書館

■ミニコンサート 年1回

平成21年度は、コントラバスとチューバ、ピアノの演奏を楽しんでいただきました。休憩時間にはコーヒーとおやつを用意し、会場となった文化センターロビーには、音楽に関する本コーナーを設置して図書館の本をご覧いただけるようにしました。

平成22年度も夜に行うコンサートを計画中です。

イベントガイド（4月～6月）

申込不要・参加無料

図書館ニュース

●読者のつどい

テーマの本の感想を話し合い、人生観や文学論などを自由に語り合う会です。

会場：互尊文庫1階 児童室

時間：19:00～20:30

4/23(金)『きれぎれ』

町田 康／著

5/28(金)『デーミアン』

ヘルマン・ヘッセ／著

●子どもの本を読む会

作者や作品についての感想、テーマの本についての思いを語り合う会です。

会場：中央図書館2階 講座室1

時間：10:00～11:30

4/14(水) 高学年の読み聞かせに

おすすめの本

5/12(水)『たのしい川べ』

ケネス・グレアム／著

6/9(水) 平成22年度ブックスタ

ート 赤ちゃん絵本の

20冊から

●映画会

会場：中央図書館2階 講堂

時間：14:00～（5/22は13:00～）

4/25(日)「アヒルと鴨のコイン
ロッカー」

5/22(日)「掘るまいか」

6/9(水)「トップハット」

6/27(日)「六ヶ所村ラブソディー」

●国民読書年&創立記念日

関連イベント（予定）

国民読書年にちなみ、楽しい行事を企画中です。

また、長岡市立図書館の創立記念日6月8日にあわせ、ミニイベントを行います。

詳細が決まり次第、市政だより等でお知らせします。

●エコブックス・フェア in 栃尾文化センター

日時：4/18(日) 10:00～17:00

会場：栃尾地域図書館（栃尾文化センターギャラリー）

◆インターネットから貸出延長

インターネットで貸出延長ができるようになりました。

◆川口地域を米百俵号が巡回

米百俵号が川口地域を巡回。貸出・返却の他に資料の予約や貸出カードの交付も行います。

また、川口公民館に取次所を設置します。予約した資料の受け取りと、資料の返却ができます。

いずれも詳細はお近くの図書館におたずねください。

◆図書館正面がピカピカに

長岡塗装業組合の皆さんが「組合創立50周年記念事業」としてボランティアで中央図書館正面鉄枠を全面塗装してくださいました。

あとがき

今年は国民読書年です。図書館では様々なイベントを企画中です。のでお楽しみに！（渡辺 雄亮）

名称	住所	電話（FAX）	開館時間	休館日
中央図書館	学校町1-2-2	32-0658 (32-0664)	9:30～19:00	毎週月曜日（祝日の場合は翌日） 毎月の月末
互尊文庫	坂之上町3-1-20	35-7981 (35-7982)	9:30～20:00 ※互尊文庫 学習室は 19:00まで	毎週木曜日（祝日の場合は翌日） 毎月の月末
西地域図書館	緑町3-55-41	27-4900 (27-4901)		
南地域図書館	曲新町566-7	30-3501 (30-3505)		
北地域図書館	新保町1399-3	22-7100 (22-7105)		
中之島地域図書館	中之島3807-3 中之島文化センター内	61-2165 (66-1003)	9:30～19:00	毎週月曜日（祝日の場合は翌日） 毎月の月末
寺泊地域図書館	寺泊磯町7411-14 寺泊文化センター内	75-5159 (75-3109)		
寺泊地域図書館 大河津地区図書室	寺泊敦ケ曾根551 寺泊センターおおこうづ内	0256-97-2497 (0256-98-2205)		
栃尾地域図書館	中央公園1-36 栃尾文化センター内	53-3005 (86-5868)	9:30～17:30	毎週木曜日（祝日の場合は翌日） 毎月の月末
文書資料室	坂之上町3-1-20 互尊文庫2階	36-7832 (37-3754)		
栃尾美術館	上の原町1-13	53-6300 (53-6370)	9:00～17:00 発券は16:30まで	毎週月曜日（祝日の場合は翌日） 展示替等のため臨時休館する場合があります。

平成22年4月1日発行 編集・発行：長岡市立中央図書館

メールアドレス：lib@city.nagaoka.niigata.jp ホームページ：http://www.lib.city.nagaoka.niigata.jp

編集員：渡辺 雄亮 広瀬 織衣 山田 紀子 金安 麻子 岩本 純子 印刷：北越印刷(株)